

お正月遊びを楽しんでいるよ！

お正月遊び『かるた・すごろく・こま』を楽しんでいます。友達と誘い合い遊びを始めたり、ルールを教え合ったりして自分たちで進めようとする姿が見られます。



こま

根元に紐を巻き付け、勢いよく引くと回るこまを使っています。根元に紐を巻き付けることが難しいので、最初は、集中して何度も挑戦していました。指先の力をつけることにもつながります。巻き方を習得すると、友達とどっちが長く回るか、こま回し勝負が始まりました。



かるた遊びでは、言葉を聞いて絵を探すことでの語い力・絵札を素早くとる反射神経・読み手の言葉をよく聞いたり目を凝らして絵札を探したいする集中力が育まれます。「今は同時だったからじゃんけんにする?」「枚数が少なくなってきたから、手は頭にして!」と言葉で伝えてルールを共有しながら楽しんでいます。



かるた

すごろく



「サイコロを振って出た目の数だけ進む」シンプルなルールですが、この遊びの中で数字や文字にふれたり、ルールを守って遊ぶ楽しさを感じたいします。出た目を数えながらマスを進めていくので、数の概念が身に付きやすいです。遊びの中で文字や数にふれることで、子どもたちの興味関心も膨らんでいきます。



3学期になり、友達と一緒に遊びを進めようとする姿が、いろいろな遊びの中で見られるようになってきました。その中で、大きく成長していると感じることは、言葉のやりとり・自分の思いを伝えようとする姿です。ルールや遊び方を教え合ったり、思ったことを伝えたいする中では、主張がぶつかることもありますが、やりとりがうまくいかないことも子どもたちにとってとても大切な経験です。自分の思いを主張するだけでなく、友達の思いを聞いたり、自分の気持ちに折り合いをつけたいしながら遊ぶようになっていきます。

自分たちで準備をしているよ！

《遊びリーダー》



2学期から、登園後9時5分になったら《遊びリーダー》が戸外に行き、遊びの場の設定を行っています。



遊びリーダーの内容は・・・

「遊びリーダーに行ってきます！」

時間になり人数が揃ったら、クラスの友達に声を掛けて準備に行きます。

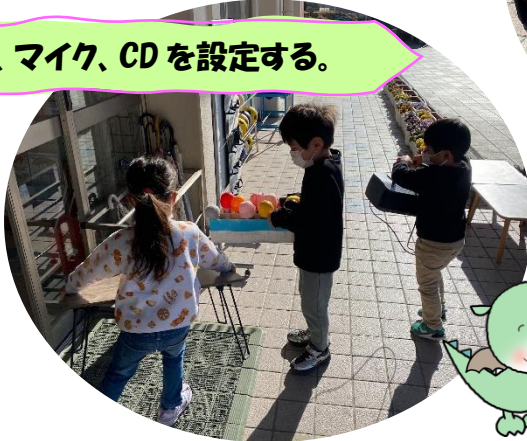
友達から「お願いします！」「ありがとう」と返事がくることで、責任感や達成感、人の役に立つ喜びを感じていきます。

踊りコーナーの衣装を外に設定する。

ちゅういっぷの水やり。



デッキ、マイク、CDを設定する。



縄跳びスタンドの準備・片付け。



縄跳びスタンドは、保育室に戻る時に片付けもします。登り棒のところから玄関まで、子どもたちにとっては距離がありますが、グループの友達と力を合わせて運んでいます。

教師も一緒に戸外に出ますが、遊び当番の様子を見守るだけで「○○運ぼう。一個ずつ持ってね。」等の声掛けはしていません。当番の内容は毎日一緒ですが、その日の当番グループによってやり方は違いました。それぞれ、自分たちで声を掛け合い、自分たちでできるように工夫しています。

テーブルの上にデッキとマイクセットが置いてあります。テーブルごと1人で運ぼうとしたAさんは、持ち上がらず運ばませんでした。すると、「Bさん、Cさんちょっと来て！3人で分けよう。これ持って！」と分担を始めました。別日の当番は、「一緒にせーので持とう。」と両端を一緒に持ち上げていました。やり方を試行錯誤し、自分たちで役割分担をする姿に驚きました。こういうところで協同性が育っていくんだな、と改めて感じました。